

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
つ く し

11月5日(火)5時間目

国語科 さとうとしお (①/5)

本時のねらい

学習課題に見通しをもち、これまでの経験で知っていることを伝えることができる。

本時のみどころ

♡説明文に触れていくスタートの学習です。ひらがなは「し・の・た」なら読める！という児童が半数を占めています。自分の知っていることや分かったことを伝え合いながら児童が主体的に参加できる授業を展開していきます。

♡集中して最大30分弱まで頑張れる子供たちです。後半は一斉指導を終えて各自が個別課題をする時間にしています。

展開

段階	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
導入	1. めあての確認をする。 どんなお話をべんきょうするのか しよう。	○さとうとしおについて知っていることを話させる。
展開	2 学習の概要を知る。 ① どんなお話かな ② 「はじめ・なか・おわり」に分ける。 ③ 「どちらもしろいつぶです。」の文は、砂糖と塩の共通点であることを押さえる。 ④ 全体の問いかけの文を押さえる。 3 さとうとしおについて知っていることを伝え合う。 さとうとしおについて 知っていることをつたえよう。	○何について書かれている文か考えさせる。 ○段落を「はじめ・なか・おわり」に分けて文全体の構造が分かるように示す。 ○「どちらもしろ」は何を指すのか考えさせる。 ○全体の問いかけの文を押さえる。 「～でしょうか。」に着目させる。 ○さとうとしおを比べながら違いを読んでいく学習であることを押さえる。 ☆自分の経験からさとうとしおについて知っていることを伝えようとしている。
まとめ	4 本時のめあてを振り返る。 5 次回の学習についての見通しをもつ。 6 個別課題に取り組む。	○介護員とあらかじめ分担してサポートする。